

令和4年8月 1日

各都道府県小学校長会 会長 様
各都道府県小学校長会 事務局長 様

全連小島根大会
実行委員長 越野 和胤

第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会の変更等について

島根県小学校長会は、第74回全国連合小学校研究協議会島根大会に向け、これまで新型コロナウイルス感染症対策を最重要課題として参加者数及び会場等の変更を再提案し、準備を進めてきました。

現在、全国の新型コロナウイルス感染状況は、令和4年6月中旬から新たな変異ウイルスへの置き換わりが進むことによって、感染者数が急増しております。本県においては、全国的な感染拡大の流れより早く、感染者数が急激に増えた状況があります。このような状況から、島根県小学校長会では、「誌上発表はできるだけ避け、会員の皆さんが安全・安心な環境の中で、校長の学びを行うことができる研究協議会を開催できないか」、ということ念頭に検討を行ってきました。

つきましては、第74回全国連合小学校研究協議会島根大会の開催に関して、島根県小学校長会及び中国地区連合小学校長会では、以下のように、開催方法を変更して本大会を開催したいと考えております。10月に松江での大会に参加を希望された会員の皆様の思いを考えますと申し訳ない思いですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会開催方法について

- (1) 全国的に新型コロナウイルス感染症の感染の拡大縮小の見通しがつかない状況である。
- (2) 現在の県内の感染状況から、大会開催に向けての準備等は限られた者が中心となって行う必要があり、厳しい状況である。
- (3) 県内では児童への感染が増加し、緊急な対応が求められる中で、学校に校長不在の期間を短くする必要がある。

以上3点の理由から、第74回全連小島根大会は、以下の通り変更し、開催する

- ① 会期を「10月13日(木)・14日(金)の2日」から「10月14日(金)の1日」に短縮し、すでに全国各地から参加希望を出された会員は開催地に参集しない。
- ② 開催地を「島根県松江市」から「島根県松江市と東京都」の2か所とする。
- ③ 島根県松江市と東京都に、それぞれ全体会場と分科会13会場を設け、オンラインで結ぶ。
- ④ 島根県松江市には分科会（中国ブロック視点2）発表者13名及び発表関係者と島根県小学校長100名程度、東京都には分科会（全国ブロック視点1）発表者13名及び発表関係者と全連小役員・理事115名程度が参加する。
- ⑤ 今回は、全国の会員に大会研究等について理解を深めていただきたいとの思いから運営の工夫を図り、大会要録を全国の全会員に配付するようにした。大会要録は10月第1週目に各都道府県小学校長会事務局に送付する。
- ⑥ 全体会の様子を全国の会員へ配信をする。分科会発表は後日オンデマンド配信を行う。配信方法等については業者と現在調整中である。
- ⑦ 大会参加費は集めない。

2 その他

- (1) 大会運営に関わる詳細な事項は、今後各都道府県小学校長会事務局に連絡する。